



# 有佐小だより

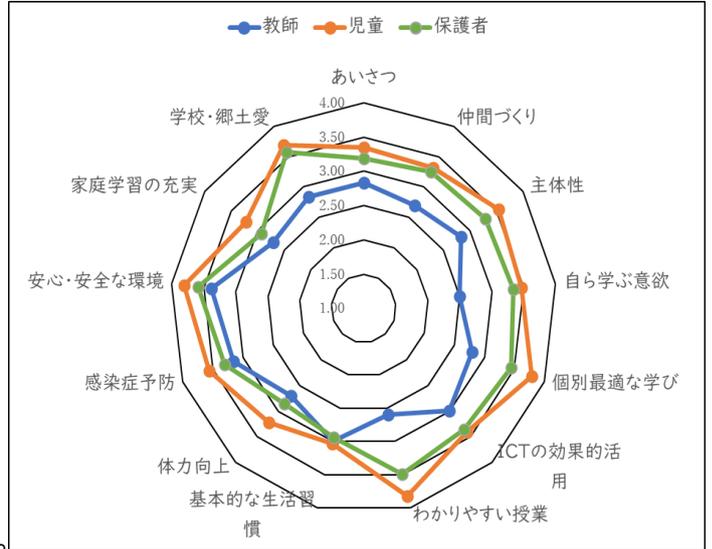
令和4年11月25日

第5号

文責 岩見 浩史

## 課題の改善を目指した後期の取組

9月末に行った前期学校評価では、全ての項目で平均値が中央の「2.5」を超え、良好な結果でした。その中で、比較的教師・児童・保護者の三者とも評価が低かったのは「体力向上」でした。原因として新型コロナウイルスや夏場の熱中症への対策により、十分に外で体を動かす機会が減少していることが考えられます。その対策として、学校では休み時間の外遊びの奨励を継続するとともに、子どもたちが進んで体を動かすような工夫をしていきたいと考えています。現在、週に2回、業間休みの時間に自分のペースで運動場を何周も走るランランタイムを実施しています。子どもたちは、意欲的に走ってがんばりカードに記録を記入しています。その成果は、12月の持久走大会でお見せできると思いますので楽しみにしてください。



次に「家庭学習の充実」についても三者の評価が低く、後期に改善していく必要があります。もちろん各担任も毎日宿題をだして家庭学習を促しています。また、鏡中校区家庭学習の手引きを子どもたちにももう一度配って、自分で考えて計画を立てて学習する習慣の形成を目指しています。土日にも学習する機会を増やそうと、各担任からタブレットパソコンを活用したeライブラリーやスタディサプリの課題を出しています。さらに、校長からも土曜日の朝にMicrosoft Teamsで「校長先生からの挑戦状」という課題を配信し、進んで学習しようとする子どもたちに楽しんで取り組んでもらっています。現在は、簡単なクイズを出していますが、子どもたちが慣れてきたらだんだん難しい課題を出したいと考えています。

「基本的な生活習慣(起床時間、就寝時間、バランスのよい食事等)」については、保護者や子どもたちは依然として課題があると感じているようです。毎月ノーメディアデーに取り組んでいただいています。がんばっている子を表彰して子どもたち自身の意欲を高めていこうとしています。また、来週の授業参観の日には、メディアやゲームとのつきあい方についての教育講演会を予定します。保護者の皆様にも子どもたちの家庭での生活について今一度考えていただく機会としていただきたいと思います。

学校評価の結果については、ホームページにも掲載しておりますので、詳しくはそちらでご確認いただき、お尋ねやご意見等あれば、学校にご連絡ください(「メニュー」→「本校の教育方針等」)。今後も学校と家庭・地域が連携して、子どもたちのよりよい成長を目指していきましょう。

## 実りの秋 体験で得られる本物 知と心

「くまもと家庭教育10か条」より

後期に入り、新型コロナウイルスのリスクレベルが下がったこともあり、様々な体験学習を予定通り実施することができました。5年生の集団宿泊学習、6年生の修学旅行、4年生の社会科見学、芸術鑑賞会(清和文楽)などです。子どもたちは、それぞれの行事で体験による貴重な学びや思い出を得ることができました。今後も3年生の社会科見学や持久走大会など、様々な行事を予定していますが、最近の新型コロナの感染状況を見ると拡大局面にあり、まだまだ予断を許しません。各ご家庭でも引き続き、予防に努めていただきたいと思います。ご協力よろしくお願いいたします。

